令和５年度　第１回大津市総合教育会議

１　開催日時　　令和５年５月２４日（水）
　　　　　　　　開会：午前１１時００分　　閉会：午前１１時３０分

２　開催場所　　新館２階　災害対策本部室

３　議　　題

（１）令和４年度総合教育会議の振り返りについて

（２）令和５年度の総合教育会議について

４　出席委員

島崎教育長、壽委員、田村委員、周防委員、佐藤市長

５　会議に出席した事務局職員

教育部長、冨永教育部次長、小島教育部次長、教育総務課長、学校教育課長
教育総務課長補佐、教育総務課副参事
政策調整部次長、企画調整課長、企画調整課主査

６　報道陣

中日新聞

７　議事の経過　　別紙のとおり

１． 開会

２． 議題

（１）令和４年度総合教育会議の振り返りについて

資料１「令和４年度総合教育会議の振り返りについて」 説明

〔質疑応答〕

○田村委員　令和４年度総合教育会議の振り返りの中で、第５回の仰木小中学校区に参加させてもらい、非常に良かった点をお伝えしたいと思います。学校夢づくりの取組を各小中学校が連携し、発表いただきました。幼小中連携というのは非常に大事であり、子どもたちや教員、または地域が隔たりなく一緒に授業を盛り上げていこうというスタンスを感じました。自分達が中学生になったらこういう取組をするという情報交流の場にもなっていたので、幼小中連携という意味で大変良かったと思っており、活動のテーマがより一層共有化でき、一緒に活動する場がもっと広がれば、さらに良い取組になるという感想を持ちました。

○事務局　田村委員よりお話いただきましたように、小学校と中学校、また保育園や幼稚園との連携はとても大事になっております。この３年間、コロナ禍ということもあり、子どもたち同士の繋がる場面が少なかったと思っています。以前まであったものを復活するということではなく、再構築し、小学校や中学校、幼稚園、保育園のより一層の連携を検討していきたいと感じています。

○壽委員　学校現場に赴いて、子どもたちの顔を見ながら話を聞けるという機会は、とても良い取組と思っていましたので、今年度も引き続き子どもたちの顔を見ながら話ができたらと思っております。また、昨年度の藤田先生をお招きしての勉強会も、学校という場の安全を考える非常に良い機会になったと思います。総合教育会議の場で議論できるというのはとても良い機会ですので、今後も情報や知識を積み上げていけるような勉強会になればと思います。

○市長　昨年度の専門家を招いての勉強会で、学校の安全について、皆さんで考えていただく機会となりましたが、総合教育会議のみでの共有とせず、どうやって現場にフィードバックしていくのかということが大変重要です。教育委員会のみならず、市長部局も含めて、現場にどう伝え、どのように対応したのかというところまで、しっかりと振り返る必要があると考えています。また、総合教育会議ではないですが、びわ湖ホールに市内の小学生が赴き、オーケストラの生の音を聞くという取組を滋賀県が実施しています。教育委員会から教育現場に働きかけをしていただいた結果、大変多くの学校が参加してくれました。びわ湖ホールという滋賀県が誇る文化施設を体験できたことは、子どもたちの心を育む意味でも重要と考えており、今後においても、こうした取組を教育現場と連携しながら進めてまいりたいと考えています。

（２）令和５年度の総合教育会議について

資料２「令和５年度の総合教育会議について」 説明

〔質疑応答〕

〇田村委員　専門家を招いての勉強会ですが、デジタルトランスフォーメーションについて興味を持っており、DX を活用し業務を効率化するだけではなく、働き方そのものを変えていく必要があると考えます。学校教育現場というのは新しい風が吹きにくい場所であり、今まで積み上げてきた古い風土を打ち破れない状況だと思います。DX を活用した好事例などの専門家の方のお話しをお伺いできればと思います。

〇教育長　勉強会について、令和３年度及び令和４年度は非常に良い話を聞かせていただいたと思っております。昨年度の藤田先生の危機管理のお話については、勉強会に参加した児童生徒支援課の担当が、勉強会での内容を学校現場にフィードバックする取組をしております。事務局案にもある情報リテラシー等についても、どのように学校現場に広げていくかを強く考えるところです。また、コロナ禍の中、晴嵐小学校とリモートでつながり、その後、瀬田南小学校の ICT を拝見し、今年の２月１６日には学校夢づくりの発表会というような取組もできました。今年は夢づくりプラスもあり、また、日ごろの学校の特色のある取組などを見に行き、子どもたちの生の声を聞くだけではなく、児童会や生徒会の子どもたちとのやりとりができるような場面があれば良いと考えています。

〇壽委員　勉強会の事務局案についてとても良いと思っております。勉強会で学んだことを、その後の学校訪問に繋げていくことが出来ればと思いました。メンタルヘルスについても個人的に気になっており、教育委員会で悲しいニュースが飛び込んでくる経験を何度もしているので、そういうことを防ぐことが出来る方法が無いかを考える場を設けてほしいとも考えております。

〇周防委員　勉強会の事務局案についてはどちらも学校の今の課題だと思います。学校現場は日常の毎日のスケジュールをこなしていく中で、課題が見えにくい、また、学校や大津市全体の課題であることが見落とされてしまいがちであると思います。それは、教員の業務の忙しさであったり、子どもの個別の対応が増えていることもあるとは思いますが、日常生活で気づきにくいところに視点が行くような勉強会になれば良いと思っています。

〇市長　勉強会については、委員の皆様の意見を参考に検討していただきたいと思います。また、学校現場の訪問については、教育長からもあったように、子どもたちの生の声を聞くことが重要であると思います。事前に用意されたものを説明するのではなく、今年度は子どもたちの自由な意見を聞くことが出来るよう、工夫していただくようにお願いします。それでは、これをもって全ての議事を終わらせていただきます。